

法人	総務課 統括	事務 局長	常 任 理 事				学長	理事長	受付 第 692 号	2021 年 3 月 26 日

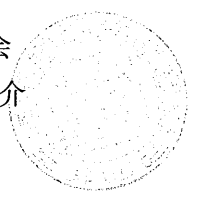
監査室   設置準   人事   会計   施設   心理C   社会研   博物館   学事C   学生C  
 キャリ7C   アドミC   地域C   情報C   国際C   教職C   高校   智学館   幼稚園

20 大基評第 237 号  
 2021 (令和3) 年3月24日

常 磐 大 学  
 学長 富 田 敬 子 殿



公益財団法人 大学基準協会  
 会長 永 田 恭 介



「改善報告書」の検討結果について (通知)

拝啓 春暖の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り、深謝申し上げます。

標記に関し、貴大学からご提出いただきました「改善報告書」につきまして、大学評価委員会及び理事会において慎重に審議を行い、別紙のとおり検討結果をとりまとめましたので、ここに通知申し上げます。

この検討結果を貴大学の一層の改善・向上にご活用くださるよう、お願いいたします。

なお、検討結果に付されている「今後の改善経過について再度報告を求める事項」につきましては、次回大学評価申請時の点検・評価報告書において、改善状況をご報告くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

敬 具

【同封資料】

「改善報告書検討結果 (常磐大学)」

※評価の過程を通じ、追加で根拠資料の提出があった場合には、当該資料について

「[3] 各指摘事項に対する改善状況」の「改善状況を示す具体的な根拠・データ等」に追記しております。

以 上

## ＜ 改善報告書検討結果（常磐大学） ＞

### [1] 概評

2016（平成 28）年度の本協会による大学評価において、貴大学に対して、改善勧告として1項目、努力課題として2項目の改善報告を求めた。これを受けて、貴大学では、中期計画・年度計画と点検・評価とを連動させる形で経営計画の進捗について理事会で定期的に確認し、事業計画等へ反映し検討を行っている。また、各学部・研究科では、年度ごとの運営計画（実現計画）に基づき、構成員全体で実施及び進捗管理をしながら、『運営報告書（実現計画実績報告）』を作成し、組織的な活動を通じて改善に向けた取り組みが行われているかを点検・評価している。以上のように改善活動に取り組んできたものの、改善が認められない項目がみられ、その中には改善勧告も含まれているため、以下に示す改善が不十分な事項については、更なる対応を求める。

改善勧告に関しては、学部の学生の受け入れ（改善勧告No.1）について、人間科学部現代社会学科では、収容定員に対する在籍学生数比率に改善が認められる一方、人間科学部コミュニケーション学科では、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均及び収容定員に対する在籍学生数比率が、それぞれ0.74、0.80と低いため、是正されたい。なお、国際学部及びコミュニティ振興学部については、2017（平成 29）年度開設の総合政策学部設置届出時（2016（平成 28）年4月）に学生の募集を停止している。

努力課題に関しては、第一に、編入学の学生の受け入れ（努力課題No.1）について、人間科学部では、3年次編入学定員を2019（平成 31）年4月から減らしているものの、編入学定員に対する編入学生数比率は0.13と依然として低いため、改善が望まれる。

第二に、財務（努力課題No.2）については、指摘事項にある「毎年度、経営改善計画における個々の数値目標に対する検証を行う」については、中長期計画「TOKIWA VISION 2023」を策定したうえで、毎年度、運営報告書（「実現計画実績報告」）を作成し、個々の具体的な改善計画の進捗を検証する体制を整えている。2019（令和元）年度決算は、大学部門で学生生徒等納付金等新設科の学年進行・定員充足等により増収となった結果、法人全体でも、事業活動収支差額がプラスに転じた。ただし、依然として「要積立額に対する金融資産の充足率が低く、「事業活動収入に対する翌年度繰越支出超過額の割合」が高い状況であることから、引き続き中長期計画を基に改善していくことが望まれる。

以上の事項について、引き続き検討を重ね、より一層の改善に尽力するとともに、貴大学が掲げる理念・目的の実現のために、不断の改善・向上に取り組むことを期待したい。また、次に掲げる事項については、改善を勧告していた事項であるにも関わらず十分な改善がみられないことから、次回大学評価申請時に改善状況を再度報告されたい。

### [2] 今後の改善経過について再度報告を求める事項

- 1) 人間科学部コミュニケーション学科の過去5年間の入学定員に対する入学者数比

率の平均が 0.74、収容定員に対する在籍学生数比率が 0.80 と低いため、是正されたい。

[3] 各指摘事項に対する改善状況

1. 努力課題について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	5. 学生の受け入れ
	指摘事項	編入学定員に対する編入学生数比率は、すべての学科において低いことを受け、学部としては人間科学部で 0.05、国際学部で 0.07 となっており、コミュニティ振興学部では編入学生がいないので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	別添ファイル 0-2. 「大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況」の〈2. 確認事項—文部科学省関係手続を主として—〉①箇所のとおり、提言の対象となった3学部「人間科学部」「国際学部」「コミュニティ振興学部」については、2016年4月25日（総合政策学部設置届出）時点で、資料のとおり、2017年度学生募集停止（国際学部およびコミュニティ振興学部）や第3学年編入学定員をはじめとする定員の是正（人間科学部）に関する手続き（文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室扱い）を済ませていた（資料1-1-1、1-1-2）。
	評価後の改善状況	上記「評価当時の状況」で述べたように、常磐大学学則第2条に規定する学生定員のうち「第3学年編入学定員」数自体の設定については、資料に示すとおりであり、抜本的に対応した（資料1-1-2）。
改善状況を示す具体的な根拠・データ等		
<p>・ 1-1-1</p> <p>「平成29年度開設予定の大学の学部等の設置届出一覧(平成28年4月分)」            ((2) 配付資料) 1頁 (文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室)</p> <p><a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/_icsFiles/afieldfile/2016/06/28/1373692_1_1.pdf">https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/_icsFiles/afieldfile/2016/06/28/1373692_1_1.pdf</a> 2020年6月1日最終アクセス</p>		

<p>出典 文部科学省 Web トップ &gt; 教育 &gt; 大学・大学院、専門教育 &gt; 新設大学等の情報          &gt; 設置届出状況 (月別) &gt; 平成 29 年度開設予定の大学の学部等の設置届出について          (平成 28 年 4 月分) <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1373692.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1373692.htm</a>          ・ 1-1-2 別掲 (後出)          「常磐大学学則第 2 条に規定する学生定員 (2016 年度から 2020 年度まで)」</p>
---

別掲<改善状況を示す具体的な根拠・データ等>

- ・ 1-1-2 「常磐大学学則第 2 条に規定する学生定員 (2016 年度から 2020 年度まで)」

学部	学 科	2016年度			2017年度			2018年度			2019年度			2020年度			
		入学定員	編入3学 年定員	収容定員	入学定員	編入3学 年定員	収容定員	入学定員	編入3学 年定員	収容定員	入学定員	編入3学 年定員	収容定員	入学定員	編入3学 年定員	収容定員	
人間科学部	心理学科	90名	5名	370名	90名	5名	370名	90名	5名	370名	90名	—	365名	90名	—	360名	
	教育学科	初等教育コース	30名	1名	122名	50名	1名	142名	50名	1名	162名	50名	2名	183名	50名	2名	204名
		中等教育コース	10名	1名	42名	16名	1名	48名	16名	1名	54名	16名	2名	61名	16名	2名	68名
	現代社会学科	80名	4名	328名	90名	4名	338名	90名	4名	348名	90名	—	354名	90名	—	360名	
	コミュニケーション学科	80名	4名	328名	70名	4名	318名	70名	4名	308名	70名	—	294名	70名	—	280名	
	健康栄養学科	80名	4名	328名	80名	4名	328名	80名	4名	328名	80名	—	324名	80名	—	320名	
国際学部	経営学科	70名	4名	288名	—	4名	218名	—	4名	148名	—	—	74名	—	—	—	
	英米語学科	60名	3名	246名	—	3名	186名	—	3名	126名	—	—	63名	—	—	—	
振興学部 コミュニティ	コミュニティ文化学科	60名	6名	252名	—	6名	192名	—	6名	132名	—	—	66名	—	—	—	
	地域政策学科	60名	6名	252名	—	6名	192名	—	6名	132名	—	—	66名	—	—	—	
	ヒューマンサービス学科	80名	8名	336名	—	8名	256名	—	8名	176名	—	—	88名	—	—	—	
総合政策学部	経営学科	—	—	—	85名	—	85名	85名	—	170名	85名	—	255名	85名	—	340名	
	法律行政学科	—	—	—	75名	—	75名	75名	—	150名	75名	—	225名	75名	—	300名	
	総合政策学科	—	—	—	85名	—	85名	85名	—	170名	85名	—	255名	85名	—	340名	

出典 常磐大学学則 附則第 38 条

本学 Web <https://www.tokiwa.ac.jp/about/rule/> (学則)

No.	種 別	内 容
2	基準項目	9. 管理運営・財務 (2) 財務
	指摘事項	財務関係比率は改善傾向にあるものの、いまだ十分な財政基盤が構築されているとはいえないことから、今後は、毎年度、経営改善計画における個々の数値目標に対する検証を行うとともに、「5ヶ年経営改善計画」で策定した個々の具体的な改善計画を着実に実行することが望まれる。

<p>評価当時の状況</p>	<p>「経営基盤の安定確保を図ること」について、本法人および本学では、別添ファイル0-2.「大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況」の〈1. 大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況〉箇所で記したように、「2014（平成26）年度から経営計画の進捗について理事会で定期的に確認し、事業計画等へ反映することを可能とする仕組みを構築して」おり、定員充足をはじめ「5ヶ年経営改善計画」への取り組み過程にあった。</p>
<p>評価後の改善状況</p>	<p>学校法人常磐大学の経営計画に基づく取り組みの結果、2019年度財務状況（概況）に関しては、「学校法人常磐大学 2019（令和元）年度事業報告書」* 39頁に、次の通り報告されている。</p> <p>*  <a href="https://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/financial/pdf/2019jigyoyou.pdf">https://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/financial/pdf/2019jigyoyou.pdf</a></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>（3）経営上の成果と課題</b></p> <p>2019年度決算における事業活動収支では、事業活動全体において、事業活動収入計が55億7千万円、事業活動支出計が54億5千万円となり、事業活動収支差額（基本金組入前当年度収支差額）は1億1千万円の収入超過となった。また、経常的な収支バランス、経営の健全性を示す経常収支差額においても1億1千万円の収入超過となった。</p> <p>要因として挙げられるのは、断続的に行ってきた経費の抑制によるものでもあるが、主たる財源である学生生徒等納付金収入の改善が最大の要因であると考えられる。特に大学においては学部改組や新学部の設置による学年進行での学生数の増加と定員充足もあり、2018年度との学生生徒等納付金収入と比較して2億5千万円程度の増収となっている。大学では今後も安定した学生確保、短期大学を含めた諸学校では、定員未充足の改善が喫緊の課題であり、これらの改善がより安定した財務基盤の確立に繋がると考えられる。</p> </div>

		<p>今後の対応としては、引き続き学生生徒の確保を軸に教育研究環境の充実を図りつつ、断続的な経費の抑制と適切な執行管理に努め、経営の永続性を担保するための収支均衡化の維持に努めていく。</p> <p>(資料1-2-1)</p> <p>《改善に向けた今後の取り組み》</p> <p>学校法人常磐大学に対しては、令和2年3月31日付け「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（令和元年度）」（平成30年度開設 常磐大学看護学部、区分 学部増設、文部科学省高等教育局私学部私学行政課法人係扱い）** での「指摘事項（改善）」（17頁、No.106）に「近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。」が付けられた。</p> <p>** <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00179.html">https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00179.html</a></p> <p>したがって、本提言については、常任理事会による資料のとおり報告するとともに、中期計画を基にして改善を継続していく（資料1-2-2）。</p> <p>改善状況を示す具体的な根拠・データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1-2-1 「学校法人常磐大学 2019（令和元）年度事業報告書」（抄） pp. 37-39</li> <li>・ 1-2-2 「学校法人常磐大学 2020 年度第 6 回常任理事会（2020 年 6 月 17 日開催）承認 資料 3『指摘事項等に対する履行状況について』」</li> <li>・ 追加資料 1-2-3 「財務関係指定資料（3年間分）」 《内訳》 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「財務計算書類」（文部科学省に提出しているもの）</li> <li>② 「監事による監査報告書」</li> <li>③ 「公認会計士または監査法人の監査報告書」</li> </ul> </li> </ul>
--	--	--

## 2. 改善勧告について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	5. 学生の受け入れ
	指摘事項	<p>過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均が、人間科学部コミュニケーション学科で0.69、国際学部で0.85、同学部英米語学科で0.62、コミュニティ振興学部で0.61、同学部コミュニティ文化学科で0.53、同学部地域政策学科で0.77、同学部ヒューマンサービス学科で0.55と低いので、是正されたい。</p> <p>また、収容定員に対する在籍学生数比率が、人間科学部現代社会学科で0.88、同学部コミュニケーション学科で0.60、国際学部で0.79、同学部英米語学科で0.56、コミュニティ振興学部で0.56、同学部コミュニティ文化学科で0.50、同学部地域政策文化学科で0.70、同学部ヒューマンサービス学科で0.49と低いので、是正されたい。</p>
	評価当時の状況	<p>別添ファイル 0-2. 「大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況」の〈2. 確認事項—文部科学省関係手続を主として—〉①箇所のとおり、提言の対象となった3学部「人間科学部」「国際学部」「コミュニティ振興学部」については、2016年4月25日（総合政策学部設置届出）時点で、資料のとおり、2017年度学生募集停止（国際学部およびコミュニティ振興学部）や第3学年編入学定員をはじめとする定員の是正（人間科学部）に関する手続（文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室扱い）を済ませていた（既出資料1-1-1、1-1-2）。</p>
	評価後の改善状況	<p>大学評価翌年度（2017年度）から2020年度まで（修業年限に応じた期間）の（1）入学定員に対する入学者数比率の平均 （2）収容定員に対する在籍学生数比率の平均、について記す。対象は、別添ファイル 0-2. 「大学評価後の改善に向けた全般的な取り組み状況」の〈2. 確認事項—文</p>

	<p>部科学省関係手続を主として一) 箇所のとおり、人間科学部(現代社会学科およびコミュニケーション学科)となる。なお、2017年度は総合政策学部開設(設置届出)、2018年度は看護学部開設(設置認可)の年度に当たる。</p> <p>(1) 入学定員に対する入学者数比率の平均 対象の人間科学部コミュニケーション学科は「0.81」である(資料2-1-1)。</p> <p>(2) 収容定員に対する在籍学生数比率の平均 対象の人間科学部現代社会学科は「1.10」、同学部コミュニケーション学科は「0.63」である(資料2-1-1)。</p> <p>《改善に向けた今後の取り組み》</p> <p>人間科学部コミュニケーション学科については、令和2年3月31日付け「大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について(令和元年度)」(平成30年度開設 常磐大学看護学部、区分 学部増設、文部科学省高等教育局私学部私学行政課法人係扱い) *<sup>1</sup> での「指摘事項(改善)」(17頁、No.106)に「今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(常磐大学 人間科学部コミュニケーション学科)」が付せられた。したがって、常任理事会による当該指摘事項に対する回答のとおり、中期計画を基にして改善に取り組む(既出 資料1-2-2)。</p> <p>なお、令和2年3月31日付け「設置計画履行状況等調査の結果について(令和元年度)」(文部科学省高等教育局高等教育企画課大学設置室扱い) *<sup>2</sup> において、本学は「指摘事項が付されなかった大学等」(6頁)に掲載されている。</p> <p>註</p> <p>*<sup>1</sup> <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00179.html">https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00179.html</a></p> <p>*<sup>2</sup> <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1413782_00001.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1413782_00001.htm</a></p>
改善状況を示す具体的な根拠・データ等	



<ul style="list-style-type: none"> <li>・(既出) 1-2-2 「学校法人常磐大学 2020 年度第 6 回常任理事会 (2020 年 6 月 17 日開催) 承認資料 3『指摘事項等に対する履行状況について』」</li> <li>・ 2-1-1 <u>別掲 (後出)</u> 「大学評価翌年度からの入学定員および収容定員の充足状況 (表)」</li> <li>・ 追加資料 2-1-2 「大学基礎データ『5. 学生の受け入れ』関係」 出典：『常磐大学・常磐短期大学 2020 年度大学基礎データ』 【註】当該追加資料については、上記資料 2-1-1 の出典との関連を図ることや、大学評価受審後に開設の 2 学部 (2017 年度；総合政策学部、2018 年度；看護学部) の設置計画履行状況等との関係性も踏まえることから、必要上、出典からの様式で作成したものである。</li> </ul>
--

別掲<改善状況を示す具体的な根拠・データ等>

2-1-1 「大学評価翌年度からの入学定員および収容定員の充足状況 (表)」

学部名	学科名	項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	入学定員に対する平均比率	収容定員に対する平均比率
人間科学部	現代社会学科	志願者数	173	194	262	251	1.28	1.10
		合格者数	161	187	234	218		
		入学者数	113	120	118	109		
		入学定員	90	90	90	90		
		入学定員充足率	1.26	1.33	1.31	1.21		
		在籍学生数	320	374	406	448		
		収容定員	338	348	354	360		
		収容定員充足率	0.95	1.07	1.15	1.24		
	コミュニケーション学科	志願者数	79	93	120	148	0.81	0.63
		合格者数	77	88	104	139		
		入学者数	43	49	59	75		
		入学定員	70	70	70	70		
		入学定員充足率	0.61	0.70	0.84	1.07		
		在籍学生数	157	177	187	225		
収容定員	318	308	294	280				
収容定員充足率	0.49	0.57	0.64	0.80				

修業年限に応じた期間、各年度 5 月 1 日現在

出典：『常磐大学・常磐短期大学 2020 年度大学基礎データ』(表 2 学生) を基に関係箇所作表

以上